

科目名	ITメディア概論 I A						学期	前 期	
担当教員	一ノ瀬 伊通子	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	4
学習目的	IT技術・IT管理・ネットワーク・データ分析・セキュリティ・IT最新技術といった実務に必要な知識を学ぶ								
授業内容	最新技術、ITを利用した管理、経営といった実務に必要な知識を学ぶ								
学習目標	ITパスポート試験に合格できる知識を習得する								
使用テキスト	・令和6年 イメージ&クレーバ方式でよくわかる かやのき先生のITパスポート教室 ・かんたん合格ITパスポート過去問題集 令和6年度 春期								
週数	授業計画					事前・事後の学習			
1	オリエンテーション 情報処理技術者試験の概要について 第1章ハードウェア	【事前】	履修概要の確認・テキスト準備						
		【事後】	第1章を読む						
2	第1章ハードウェア 確認テスト	【事前】	第1章を読む						
		【事後】	第1章章末問題・新出用語のまとめ						
3	第1章ハードウェア 確認テスト	【事前】	第1章を読む						
		【事後】	第1章章末問題・新出用語のまとめ						
4	第2章ソフトウェア 確認テスト	【事前】	第2章を読む						
		【事後】	第2章章末問題・新出用語のまとめ						
5	第2章ソフトウェア 確認テスト	【事前】	第2章を読む						
		【事後】	第2章章末問題・新出用語のまとめ						
6	第3章システム構成 確認テスト	【事前】	第3章を読む						
		【事後】	第3章章末問題・新出用語のまとめ						
7	第4章ネットワーク 確認テスト	【事前】	第4章を読む						
		【事後】	第4章章末問題・新出用語のまとめ						
8	第4章ネットワーク 確認テスト	【事前】	第4章を読む						
		【事後】	第4章章末問題・新出用語のまとめ						
9	第5章セキュリティ 確認テスト	【事前】	第5章を読む						
		【事後】	第5章章末問題・新出用語のまとめ						
10	第5章セキュリティ 確認テスト	【事前】	第5章を読む						
		【事後】	第5章章末問題・新出用語のまとめ						
11	第6章データベース 確認テスト	【事前】	第6章を読む						
		【事後】	第6章章末問題・新出用語のまとめ						
12	第6章データベース 確認テスト	【事前】	第6章を読む						
		【事後】	第6章章末問題・新出用語のまとめ						
13	CBT模擬試験 解説	【事前】	前期の範囲を復習しておく						
		【事後】	間違った問題を必ず見直す						
14	CBT模擬試験 解説	【事前】	前期の範囲を復習しておく						
		【事後】	間違った問題を必ず見直す						
15	CBT模擬試験 解説	【事前】	前期の範囲を復習しておく						
		【事後】	間違った問題を必ず見直す						
	評価項目/割合		評価内容						
評価 基準	1. 課題	30 %	教科書内の練習問題および授業中の演習課題						
	2. 授業姿勢	30 %	出席状況および授業への取り組み姿勢・忘れ物 重要ポイントを各自しっかりチェックされているか 演習問題等への積極的取り組み姿勢						
	3. テストその他	40 %	各章ごとの確認テストおよび練習問題 模擬試験・期末試験						
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標検 定・課外 授業実 施予定・ その他	情報処理技術者試験ITパスポート 1月受験目標 授業ではGoogleClassroomを使用します。Googleにアクセスできる端末をもってきてください。								

科目名	ITメディア概論 I B						学期	後 期	
担当教員	一ノ瀬 伊通子	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	4
学習目的	IT技術・IT管理・ネットワーク・データ分析・セキュリティ・IT最新技術といった実務に必要な知識を学ぶ								
授業内容	最新技術、ITを利用した管理、経営といった実務に必要な知識を学ぶ								
学習目標	ITパスポート試験に合格できる知識を習得する								
使用テキスト	・令和6年 イメージ&クレーバー方式でよくわかる かやのき先生のITパスポート教室 ・かんたん合格ITパスポート過去問題集 令和6年度 春期								
週数	授業計画					事前・事後の学習			
1	第7章アルゴリズムとプログラミング 確認テスト	【事前】	第7章を読む						
		【事後】	第7章章末問題・新出用語のまとめ						
2	第8章マネジメント 確認テスト	【事前】	第8章を読む						
		【事後】	第8章章末問題・新出用語のまとめ						
3	第8章マネジメント 確認テスト	【事前】	第8章を読む						
		【事後】	第8章章末問題・新出用語のまとめ						
4	第9章企業活動と法務 確認テスト	【事前】	第9章を読む						
		【事後】	第9章章末問題・新出用語のまとめ						
5	第10章経営戦略とシステム戦略 確認テスト	【事前】	第10章を読む						
		【事後】	第10章章末問題・新出用語のまとめ						
6	第10章経営戦略とシステム戦略 確認テスト	【事前】	第10章を読む						
		【事後】	第10章章末問題・新出用語のまとめ						
7	CBT模擬試験 解説	【事前】	試験全範囲の復習						
		【事後】	間違った問題を見直す						
8	CBT模擬試験 解説	【事前】	試験全範囲の復習						
		【事後】	間違った問題を見直す						
9	CBT模擬試験 解説	【事前】	試験全範囲の復習						
		【事後】	間違った問題を見直す						
10	CBT模擬試験 解説	【事前】	試験全範囲の復習						
		【事後】	間違った問題を見直す						
11	CBT模擬試験 解説	【事前】	試験全範囲の復習						
		【事後】	間違った問題を見直す						
12	CBT模擬試験 解説	【事前】	試験全範囲の復習						
		【事後】	間違った問題を見直す						
13	CBT模擬試験 解説	【事前】	試験全範囲の復習						
		【事後】	間違った問題を見直す						
14	CBT模擬試験 解説	【事前】	試験全範囲の復習						
		【事後】	間違った問題を見直す						
15	直前模擬試験 学年末試験 (ITパスポート本番)	【事前】	本試験の申込・全範囲の復習						
		【事後】	模試の間違った問題を見直す						
	評価項目/割合		評価内容						
評価基準	1. 課題	30 %	教科書内の練習問題および授業中の演習課題						
	2. 授業姿勢	30 %	出席状況および授業への取り組み姿勢・忘れ物 重要ポイントを各自しっかりチェックされているか 演習問題等への積極的取り組み姿勢						
	3. テストその他	40 %	各章ごとの確認テストおよび練習問題 模擬試験・期末試験						
目標検 定・課外 授業実 施予定・ その他	情報処理技術者試験ITパスポート 1月受験目標 授業ではGoogleClassroomを使用します。Googleにアクセスできる端末をもってきてください。								

科目名	プレゼンテーションⅡA						学期	前	期	期	
担当教員	クレセント株式会社	科目区分	専門	授業方法	演習	履修分類	必修	単位数	1		
学習目的	PowerPointの基礎的な知識について学習する。										
授業内容	PowerPointを使用したスライド作成を行う。										
学習目標	PowerPointを用いて白紙からスライド作成ができる。										
使用テキスト	30時間でマスター プレゼンテーション+PowerPoint2019(Windows10対応)										
週数	授業計画					事前・事後の学習					
1	プレゼンテーションとは	【事前】	Wordの復習をしておく			【事後】	課題作成、反復練習を行う				
		【事後】					【事前】	前回の復習をしておく			
2	PowerPointの基本操作	【事前】	前回の復習をしておく			【事後】	課題作成、反復練習を行う				
		【事後】					【事前】	前回の復習をしておく			
3	画像の活用	【事前】	前回の復習をしておく			【事後】	課題作成、反復練習を行う				
		【事後】					【事前】	前回の復習をしておく			
4	グラフの活用	【事前】	前回の復習をしておく			【事後】	課題作成、反復練習を行う				
		【事後】					【事前】	前回の復習をしておく			
5	SmartArtグラフィックの活用	【事前】	前回の復習をしておく			【事後】	課題作成、反復練習を行う				
		【事後】					【事前】	前回の復習をしておく			
6	アニメーションの活用	【事前】	前回の復習をしておく			【事後】	課題作成、反復練習を行う				
		【事後】					【事前】	前回の復習をしておく			
7	スライド効果の活用	【事前】	前回の復習をしておく			【事後】	課題作成、反復練習を行う				
		【事後】					【事前】	前回の復習をしておく			
8	テーマの活用	【事前】	前回の復習をしておく			【事後】	課題作成、反復練習を行う				
		【事後】					【事前】	前回の復習をしておく			
9	スライドマスターの使用	【事前】	前回の復習をしておく			【事後】	課題作成、反復練習を行う				
		【事後】					【事前】	前回の復習をしておく			
10	オリジナルテーマの作成	【事前】	前回の復習をしておく			【事後】	課題作成、反復練習を行う				
		【事後】					【事前】	前回の復習をしておく			
11	テンプレートの活用	【事前】	前回の復習をしておく			【事後】	課題作成、反復練習を行う				
		【事後】					【事前】	前回の復習をしておく			
12	テーマに沿った白紙からのスライド作成	【事前】	前回の復習をしておく			【事後】	課題作成、反復練習を行う				
		【事後】					【事前】	前回の復習をしておく			
13	原稿の作成	【事前】	前回の復習をしておく			【事後】	課題作成、反復練習を行う				
		【事後】					【事前】	前回の復習をしておく			
14	リハーサル	【事前】	前回の復習をしておく			【事後】	課題作成、反復練習を行う				
		【事後】					【事前】	前回の復習をしておく			
15	プレゼンテーションの実施	【事前】	前回の復習をしておく			【事後】	課題作成、反復練習を行う				
		【事後】					【事前】	前回の復習をしておく			
		評価項目/割合			評価内容						
評価基準	1. 課題	40 %	課題の提出								
	2. 授業姿勢	30 %	出席率、授業中の態度、ワークへの取り組み								
	3. テストその他	30 %	小テスト								
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。										
目標検定・課外授業実施予定・その他											

科 目 名	カラーコーディネート I A						学 期	前 期	
担当教員	畠山 博子	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	2
関係実務等	広告代理店を経てデザイン事務所開設。グラフィックデザイナーとして活動								
授業内容	色彩科学、色彩調和などを学習しながら、色を見る力を養う								
学習目的	基本的な色彩理論を学習する								
学習目標	様々なビジネスシーンで必要となる色彩の考え方を理解し、活用できるようになる。								
使用テキスト	色彩検定3級テキスト、色彩検定3級問題集、色彩検定過去問題集								
週数	授業計画								
1	自己紹介、カラーカードを貼る								
2	カラーカードを貼る								
3	実習・ポスターカラーを使う								
4	実習・ポスターカラーを使う								
5	光と色								
6	光と色								
7	眼のしくみ								
8	眼のしくみ								
9	混色								
10	混色								
11	色の三属性								
12	色の三属性								
13	PCCSの理解と色彩調和								
14	PCCSの理解と色彩調和								
15	パーソナルカラーの基礎								
評 価 基 準	評価項目/割合		評 価 内 容						
	1. 課 題	50 %	レポート、小テスト結果等を評価する						
	2. 授 業 姿 勢	30 %	授業規律、受講態度、積極性、質問応答等を評価する						
	3. テストその	20 %	期末テスト結果を評価する						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検 定・課外 授業実施 予定・そ 他の	AFT色彩検定3級 進行状況により変更する場合があります。								

科目名	カラーコーディネート I B						学期	後 期	
担当教員	畠山 博子	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	2
関係実務等	広告代理店を経てデザイン事務所開設。グラフィックデザイナーとして活動								
授業内容	デザインをする上で目的にあった効果のあるカラーコーディネートとはどういうものかを学ぶ								
学習目的	色彩検定3級合格を目指して、色彩の基本を学習する。								
学習目標	色彩検定とは何か、応用的な理解ができ、実戦に活かせる力をつける								
使用テキスト	色彩検定3級テキスト、色彩検定3級問題集、色彩検定過去問題集								
週数	授業計画								
1	前期の復習								
2	色彩心理								
3	色彩心理								
4	配色イメージ								
5	ファッションと色彩								
6	ファッションと色彩								
7	インテリアと色彩								
8	インテリアと色彩								
9	慣用色名								
10	検定に向けての学習								
11	検定に向けての学習								
12	検定に向けての学習								
13	検定に向けての学習								
14	ビジュアルデザインの基礎								
15	ビジュアルデザインの基礎								
評価基準	評価項目/割合		評価内容						
	1. 課題	50 %	レポート、小テスト結果等を評価する						
	2. 授業姿勢	30 %	授業規律、受講態度、積極性、質問応答等を評価する						
	3. テストその	20 %	模擬テスト結果等を評価する						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	AFT色彩検定3級 進行状況により変更する場合があります。								

科目名	Webデザイン技術ⅡA						学期	前	期
担当教員	堺 信貴	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	2
学習目的	ビジネス文書作成、Webデザインに必要な知識・技術を学習し、資格取得を目指す。								
授業内容	Webを表現手段とするための知識と技術を学び、実践する。検定合格を目指す。								
学習目標	Webデザイナー検定に合格できる知識を身に付ける。								
使用テキスト	入門Webデザイン、Webデザイナー検定公式問題集								
週数	授業計画								
1	Webデザイン、Webサイトの種類 Webサイトの制作フロー								
2	コンセプトメイキング 情報の収集・分類・組織化 情報の構造化とアクセスルート								
3	閲覧機器 Webページの画面構成								
4	素材の制作 テストと修正 評価とメンテナンス								
5	HTMLの基礎①								
6	HTMLの基礎②								
7	CSSの基礎①								
8	文書要素の制御								
9	フォーム								
10	CSSレイアウト								
11	デジタルとソフトウェア								
12	入出力装置 インターネットの基礎								
13	知的財産権 データフォーマット								
14	試験対策								
15	試験対策								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	50 %	授業中に取り組む課題 宿題課題						
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席・遅刻がないか ②受講マナーが良好か ③クラスの授業に協力的か、④授業中に良く聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ⑤忘れ物をしない 以上の観点から評価。						
	3. テストその他	20 %	確認小テスト結果 期末テスト結果						
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標検定・課外授業実施予定・その他	7月にWebデザイナー検定を実施授業の進捗度・理解度等により、授業実施順番、内容を変更する場合があります。								

科目名	デザイン概論 I A							学期	前	期	期
担当教員	畠山 博子	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1		
関係実務等	広告代理店を経てデザイン事務所開設。グラフィックデザイナーとして活動										
授業内容	デザインに必要とされるデザインの基礎を学ぶ										
学習目的	webデザイン、コンテンツデザイン、映像デザインのクオリティ向上につなげる										
学習目標	様々なビジネスシーンで必要となるデザインの考え方を理解し、活用できるようになる										
使用テキスト	なるほどデザイン、誰も教えてくれないデザインの基本										
週数	授業計画										
1	身の回りのデザインをしてみる・・・基本的なデザインの話、デザインとは何か										
2	レイアウトの基本・・・鉛筆、消しゴムなどを使って										
3	視覚的な表現における構成・・・揃えること、ページの分割と対比										
4	基本的な図形による平面構成のトレーニング・・・線を使って										
5	基本的な図形による平面構成のトレーニング・・・四角形を使って										
6	基本的な図形による平面構成のトレーニング・・・円を使って										
7	サンセリフの書体を活かしたデザイン										
8	セリフ書体を活かしたデザイン										
9	色々な書体について										
10	色を使った平面構成のトレーニング										
11	色彩計画・・・カラーパレットの作成										
12	動きやリズムを感じさせるデザイン・余白を活かしたデザイン										
13	色の使い方、写真とのつき合い方										
14	イラストの使い方、ダイアグラムについて										
15	デザインの進め方、細部を見る大切さ										
評価基準	評価項目/割合			評価内容							
	1. 課題	50 %		レポート、課題演習の結果等を評価する							
	2. 授業姿勢	30 %		授業規律、受講態度、積極性、質問応答等を評価する							
	3. テストその他	20 %		デザインする上で必要な考え方、物事の進め方、行動力などを評価する							
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。										
目標検 定・課外 授業実施 予定・その他	進行状況により変更する場合があります。										

科 目 名	コンテンツデザイン I A						学期	前 期	
担当教員	向谷内 由佳	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	2
学習目的	グラフィックデザインの基本スキルを身につける。								
授業内容	Illustrator/Photoshopを使用し、印刷物やWeb素材の制作に取り組む。								
学習目標	デザインソフトの基礎をマスターし、印刷物やWeb素材を制作できるようになる。								
使用テキスト	IllustratorクイックマスターCC、Illustratorクリエイター能力認定試験問題集、誰も教えてくれないデザインの基本、なるほどデザイン								
週数	授業計画								
1	授業の目的、目標、検定について知る 実習環境確認、各ソフトの違い、Illustratorの環境設定と基本操作								
2	オブジェクトの基本 基本的な編集								
3	レイヤー オブジェクトの組み合わせによる編集								
4	文字編集の基本 文字と書体について								
5	カラー設定の基本 画像・素材の配置								
6	パスの基本								
7	オブジェクトの応用								
8	カラー設定の応用								
9	レイヤーの応用								
10	文字編集の応用								
11	パスの応用								
12	Photoshopの環境設定と基本操作								
13	Photoshop基礎-色調補正・レタッチ								
14	Photoshop基礎-選択とマスク								
15	前期確認課題								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題 50 %			課題提出 課題のクオリティ					
	2. 授業 30 %			①欠席・遅刻がないか ②受講マナーが良好か ③クラスの授業に協力的か、④授業中に良く聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ⑤忘れ物をしない 以上の観点から評価					
	3. テスト 20 %			課題の内容、小テスト結果等を評価する。					
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施	授業の進捗度・理解度等により、授業実施順番、内容を変更する場合があります。								

科目名	コンテンツデザイン I B					学期	後 期
担当教員	向谷内 由佳	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修
学習目的	グラフィックデザインの基本スキルを身につける。						
授業内容	Illustrator/Photoshopを使用し、印刷物やWeb素材の制作に取り組む。						
学習目標	目的に合った様々な印刷物やWeb素材を制作できるようになる。検定に合格する。						
使用テキスト	IllustratorクイックマスターCC、Illustratorクリエイター能力認定試験問題集、誰も教えてくれないデザインの基本、なるほどデザイン						
週数	授業計画						
1	Illustratorクリエイター能力認定試験対策 実技/実践①						
2	Illustratorクリエイター能力認定試験対策 実技/実践②						
3	Illustratorクリエイター能力認定試験対策 実技/実践③						
4	Illustratorクリエイター能力認定試験対策 実技/実践④						
5	直前対策						
6	Photoshop応用						
7	Photoshop応用						
8	デザイン実践-テーマ課題①制作						
9	デザイン実践-テーマ課題①仕上げ・講評						
10	デザイン実践-テーマ課題②制作						
11	デザイン実践-テーマ課題②仕上げ・講評						
12	デザイン実践-テーマ課題③制作						
13	デザイン実践-テーマ課題③仕上げ・講評						
14	デザイン実践-テーマ課題④制作						
15	デザイン実践-テーマ課題④仕上げ・講評						
	評価項目/割合		評価内容				
評価基準	1. 課題	50%	課題提出 課題のクオリティ				
	2. 授業姿勢	30%	①欠席・遅刻がないか ②受講マナーが良好か ③クラスの授業に協力的か、④授業中に良く聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ⑤忘れ物をしない 以上の観点から評価				
	3. テストその他	20%	課題の内容、小テスト結果、検定結果等を評価する。				
目標検定・課外授業実施	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。						
	授業の進捗度・理解度等により、授業実施順番、内容を変更する場合があります。						

科目名	IPデザイン実践ⅡA					学期	前	期
担当教員	向谷内・非常勤	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数
								2
学習目的	実践的なデザイン制作を学ぶ。							
授業内容	クライアントワークを想定した課題制作やコンテスト作品制作を行う。							
学習目標	コンペ・コンテスト出品作品を完成させる。							
使用テキスト	なし							
週数	授業計画							
1	クライアント課題－事業理解・コンセプト設定							
2	クライアント課題－ブランドデザイン							
3	クライアント課題－ブランドデザイン							
4	クライアント課題－ブランドデザイン							
5	クライアント課題－ブランドデザイン 仕上げ・講評							
6	クライアント課題－Webデザイン サイト構造							
7	クライアント課題－Webデザイン ワイヤーフレーム							
8	クライアント課題－Webデザイン ワイヤーフレーム							
9	クライアント課題－Webデザイン カンプ							
10	クライアント課題－Webデザイン カンプ							
11	クライアント課題－Webデザイン 仕上げ・講評							
12	青少年美術展出品ポスター制作							
13	青少年美術展出品ポスター制作							
14	青少年美術展出品ポスター制作							
15	青少年美術展出品ポスター制作 仕上げ・講評							
	評価項目/割合				評価内容			
評価基準	1. 課題	50%	課題提出 課題のクオリティ					
	2. 授業姿勢	30%	①欠席・遅刻がないか ②受講マナーが良好か ③クラスの授業に協力的か、④授業中に良く聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ⑤忘れ物をしない 以上の観点から評価					
	3. テストその他	20%	課題のクオリティ等を評価する。					
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。							
目標検定・課外授業実施	授業の進捗度・理解度等により、授業実施順番、内容を変更する場合があります。							

科目名	IPデザイン実践ⅡB					学期	前期
担当教員	向谷内	科目区	専門	授業方法	演習	分類	必修
学習目的	設定した仮想企業のコンセプトに沿ったデザイン制作を行う。						
授業内容	仮想企業のブランディングツール・プロモーションツールを制作する。						
学習目標	卒業制作(仮想企業のブランディングツール・プロモーションツール)を完成させる。						
使用テキスト	なし						
週数	授業計画						
1	卒業制作－ブランディングツール・プロモーションツール制作計画						
2	卒業制作－名刺デザイン						
3	卒業制作－名刺デザイン						
4	卒業制作－封筒デザイン						
5	卒業制作－封筒デザイン						
6	卒業制作－パンフレット・カードデザイン						
7	卒業制作－パンフレット・カードデザイン						
8	卒業制作－パンフレット・カードデザイン						
9	卒業制作－ノベルティデザイン						
10	卒業制作－ノベルティデザイン						
11	卒業制作－ノベルティデザイン						
12	卒業制作－パネルアップ						
13	卒業制作－ブラッシュアップ・印刷						
14	卒業制作－ブラッシュアップ・印刷						
15	卒業制作－ブラッシュアップ・印刷						
	評価項目/割合		評価内容				
評価基準	1. 課題	50%	課題提出 課題のクオリティ				
	2. 授業姿勢	30%	①欠席・遅刻がないか ②受講マナーが良好か ③クラスの授業に協力的か、④授業中に良く聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ⑤忘れ物をしない 以上の観点から評価				
	3. テストその他	20%	課題のクオリティ等を評価する。				
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。						
目標検定・課外授業実施	授業の進捗度・理解度等により、授業実施順番、内容を変更する場合があります。						

科目名	Web演習 I A						学期	前 期	
担当教員	堺 信貴	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	2
学習目的	HTML、CSSなどWeb作成に必要な基本的な知識とその活用方法を習得する。								
授業内容	基本的な構造のWebページ作成を通じてHTMLとCSSの使い方を学ぶ								
学習目標	Webページの構造を把握し、簡単なWebページを作れるスキルを習得する。								
使用テキスト	これだけで基本がしっかり身につく HTML/CSS&Webデザイン 1冊目の本								
週数	授業計画								
1	【HTMLに関する概論】 ・Webサイトが表示される仕組み、コーディングに必要な専門用語について ・Webページのコーディング体験。								
2	【HTMLの基本_1】 ・HTML言語、マークアップについて解説。 ・HTMLタグの解説。								
3	【HTMLの基本_2】 ・HTMLタグの解説。 ・HTMLのタグを活用して文章をマークアップする。								
4	【CSSの基本_1】 ・CSSの書き方、読み方について解説。 ・CSSの読み込み方、背景色、フォント、枠線を学ぶ。								
5	【CSSの基本_2】 ・ボックスモデルについて解説。 ・padding、margin、width、displayを学ぶ。								
6	【CSSの基本_3】 ・HTMLとCSSを活用してSNSリンク集のページを作成。								
7	【CSSの基本_実践】 ・HTMLとCSSを活用して、自作のリンク集ページを作成する。								
8	【ページの文書構造_1】 ・ブログページをもとにWebサイトのパーツ構成の把握。 ・HTML内でエリアごとに文章をマークアップ。								
9	【ページの文書構造_2】 ・フレックスボックスレイアウトを学ぶ。 ・CSSの適応範囲を把握する。								
10	【ページの文書構造_3】 ・CSSの適応範囲を把握してエリアごとに適切な装飾をする。								
11	【ページの文書構造_実践】 ・HTMLとCSSを活用して、ブログページを作成する。								
12	【前期コーディング実践テスト】 Webページのサンプル画像を元に、HTMLとCSSを活用してブラウザ上で再現する。								
13	【学期末課題_1】 前回授業のテストの解説。 前期学んだ内容を踏まえて自作のWebページを作成する。								
14	【学期末課題_2】 前期学んだ内容を踏まえて自作のWebページを作成する。								
15	【学期末課題_3】 前期学んだ内容を踏まえて自作のWebページを作成する。								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	40 %	授業内課題提出、制作物、学期末課題にて評価する。						
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席・遅刻がないか ②受講マナーが良好か ③クラスの授業に協力的か ④授業中に良く聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ⑤忘れ物をしない 以上の観点から評価。						
	3. テストその他	30 %	コーディング実践テストの内容から評価する。						
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標検定・課外授業実施予定・その他	授業の進捗度・理解度等により、授業実施順番、内容を変更する場合があります。								

科目名	Web演習 I B						学期	後	期	2
担当教員	堺 信貴	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	2	
学習目的	HTML、CSSなどWeb作成に必要な基本的な知識とその活用方法を習得する。									
授業内容	基本的な構造のWebページ作成を通じてHTMLとCSSの使い方を学ぶ									
学習目標	Webページの構造を把握し、簡単なWebページを作れるスキルを習得する。									
使用テキスト	これだけで基本がしっかり身につく HTML/CSS&Webデザイン 1冊目の本									
週数	授業計画									
1	【HTMLに関する概論】 ・Webサイト作成に関わる業務について。 ・Webページのデザイン体裁。									9-1
2	【1カラムサイトとフォーム_1】 ・フォームの仕組みについて把握する。 ・Webフォント									9-2
3	【1カラムサイトとフォーム_2】 ・1カラムサイトのCSS装飾									9-3
4	【1カラムサイトとフォーム_3】 ・CSSアニメーション ・レスポンシブ									9-4
5	【ページの文書構造_実践1】 ・HTMLとCSSを活用して、フォームを搭載した1カラムレイアウトのページを作成する。									10-1
6	【ページの文書構造_実践2】 ・HTMLとCSSを活用して、フォームを搭載した1カラムレイアウトのページを作成・完成する。									10-2
7	【グリッドレイアウトのページ_1】 ・複数ページの階層や文章構成を理解してコーディングする。									10-3
8	【グリッドレイアウトのページ_2】 ・グリッドレイアウトを適応したページを作成する。									10-4
9	【グリッドレイアウトのページ_3】 ・グリッドレイアウトを適応したページを作成する。 ・レスポンシブデザインに対応したWebページのコーディングをする。									11-1
10	【後期コーディング実践テスト】 Webサイトのサンプル画像を元に、HTMLとCSSを活用してブラウザ上で再現する。									11-2
11	【学年末課題_1】 前回授業のテストの解説。 今年度学んだ内容を踏まえて自作のWebサイトを作成する。									11-3
12	【学年末課題_2】 今年度学んだ内容を踏まえて自作のWebサイトを作成する。									11-4
13	【学年末課題_3】 今年度学んだ内容を踏まえて自作のWebサイトを作成・完成する。									12-1
14	【コーディング技術応用_1】 Javascript、jQueryの概要を理解する。 HTML、CSS、jQueryを活用し、実際のWebサイトに使用されている機能や仕組みに触れる。									1-1
15	【コーディング技術応用_2】 HTML、CSS、jQueryを活用し、実際のWebサイトに使用されている機能や仕組みを取り入れたコーディングを行う。									1-2
評価項目/割合		評価内容								
評価基準	1. 課題	40 %	授業内課題提出、制作物、学期末課題にて評価する。							
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席・遅刻がないか ②受講マナーが良好か ③クラスの授業に協力的か ④授業中に良く聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ⑤忘れ物をしない 以上の観点から評価。							
	3. テストその他	30 %	コーディング実践テストの内容から評価する。							
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	授業の進捗度・理解度等により、授業実施順番、内容を変更する場合があります。									

科目名	Web演習ⅡA						学期	前	期
担当教員	堺 信貴	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	2
学習目的	HTML、CSSなどWeb作成に必要な知識とその活用方法を習得する。								
授業内容	様々な構造のWebページ作成を通じてHTMLコンポーネントの構造と役割を学ぶ。								
学習目標	Webページのコンポーネントの構造を理解し、それらを組み合わせたWebページの制作スキルを習得する。								
使用テキスト	目的別に探せてすぐ使えるアイデアデザイン集 Webデザイン良質見本帳								
週数	授業計画								
1	【Web制作におけるライブラリ】 ・ライブラリの使い方・導入について知る。								
2	【フォーマルなWebサイトによく用いられる機能】 アクセシビリティを優先した静的コンポーネント ・メガメニュー ・ナビゲーションバー								
3	【フォーマルなWebサイトによく用いられる機能】 ・ライブラリを用いたカレンダーの作成 ・タブ機能を持つインフォメーション								
4	【制作実践1】 メガメニューとタブ機能を搭載したWebページを制作する。								
5	【制作実践1】 メガメニューとタブ機能を搭載したWebページを制作する。								
6	【制作実践1】 メガメニューとタブ機能を搭載したWebページを制作する。								
7	【ビジュアル優位のWebサイトによく用いられる機能】 ・グリッドレイアウトを用いたギャラリー ・カードレイアウトを用いたギャラリー								
8	【ビジュアル優位のWebサイトによく用いられる機能】 ・ユーザーのアクションをトリガーとした動的ナビゲーション								
9	【ビジュアル優位のWebサイトによく用いられる機能】 ユーザーのアクションをトリガーとしない動的コンポーネント ・カルーセルスライダー ・ローディング								
10	【制作実践2】 ・動的ナビゲーションをとグリッドレイアウトを搭載したWebページの制作する。								
11	【制作実践2】 ・動的ナビゲーションをとグリッドレイアウトを搭載したWebページの制作する。								
12	【制作実践2】 ・動的ナビゲーションをとグリッドレイアウトを搭載したWebページの制作する。								
13	【仮想企業サイトの作成_1】 1年次、2年次前期に学んだ内容を踏まえて仮想企業のWebページのトップページの作成する。								
14	【仮想企業サイトの作成_2】 1年次、2年次前期に学んだ内容を踏まえて仮想企業のWebページのトップページの作成する。								
15	【仮想企業サイトの作成_3】 1年次、2年次前期に学んだ内容を踏まえて仮想企業のWebページのトップページの作成する。								
評価基準	評価項目/割合			評価内容					
	1. 課題	40 %	授業内課題提出、制作物、学期末課題にて評価する。						
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席・遅刻がないか ②受講マナーが良好か ③クラスの授業に協力的か ④授業中に良く聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ⑤忘れ物をしない 以上の観点から評価。						
	3. テストその他	30 %	学期末の制作物の内容から評価する。						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	授業の進捗度・理解度等により、授業実施順番、内容を変更する場合があります。								

科目名	Web演習ⅡB						学期	後 期	
担当教員	堺 信貴	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	2
学習目的	HTML、CSSなどWeb作成に必要な知識とその活用方法を習得する。								
授業内容	Webサイトの作成を通じてHTMLとCSSの使い方を学ぶ。								
学習目標	Webサイトの構造を把握し、Webサイトを作るスキルを習得する。								
使用テキスト	これだけで基本がしっかり身につく HTML/CSS&Webデザイン 1冊目の本								
週数	授業計画								
1	【HTMLに関する概論】 ・Webサイト作成に関わる業務について。 ・Webページのデザイン体験。								9-1
2	【仮想企業_コーポレートサイト概要】 ・総合演習ⅡBと連動し、コーポレートサイトと構成するページを理解する。 ・コーポレートサイトのトップページを作成する。								9-2
3	【仮想企業_コーポレートサイト制作1】 ・コーポレートサイトにおけるトップページの役割を理解する。 ・総合演習ⅡBと連動し、コーポレートサイトのトップページを作成する。								9-3
4	【仮想企業_コーポレートサイト制作2】 ・総合演習ⅡBと連動し、コーポレートサイトのトップページを作成する。								9-4
5	【仮想企業_コーポレートサイト制作3】 ・コーポレートサイトにおける会社概要ページの役割を理解する。 ・総合演習ⅡBと連動し、コーポレートサイトの会社概要ページを作成する。								10-1
6	【仮想企業_コーポレートサイト制作4】 ・総合演習ⅡBと連動し、コーポレートサイトの会社概要ページを作成する。								10-2
7	【仮想企業_コーポレートサイト制作5】 ・総合演習ⅡBと連動し、コーポレートサイトの商品情報ページを作成する。								10-3
8	【仮想企業_コーポレートサイト制作6】 ・総合演習ⅡBと連動し、コーポレートサイトの商品情報ページを作成する。								10-4
9	【仮想企業_コーポレートサイト制作7】 ・総合演習ⅡBと連動し、コーポレートサイトの商品情報ページを作成する。								11-1
10	【仮想企業_コーポレートサイト制作8】 ・総合演習ⅡBと連動し、コーポレートサイトのニュースページを作成する。								11-2
11	【仮想企業_コーポレートサイト制作9】 ・総合演習ⅡBと連動し、コーポレートサイトのニュースページを作成する。								11-3
12	【仮想企業_コーポレートサイト仕上げ】 ・コーポレートサイトの仕上げ、テストアップ。								11-4
13	【仮想企業_コーポレートサイト仕上げ】 ・コーポレートサイトの仕上げ、ブラッシュアップ。								12-1
14	【仮想企業_コーポレートサイト仕上げ】 ・コーポレートサイトの完成。								1-1
15	【仮想企業_コーポレートサイト運用】 ・Web演習ⅡBで作成したコーポレートサイトとリンク付け ・総合演習ⅡBで作成したSNSアカウントとリンク付け								1-2
評価基準	評価項目/割合			評価内容					
	1. 課題	40%		授業内課題提出、制作物、学期内課題にて評価する。					
	2. 授業姿勢	30%		①欠席・遅刻がないか ②受講マナーが良好か ③クラスの授業に協力的か ④授業中に良く聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ⑤忘れ物をしない 以上の観点から評価。					
	3. テストその他	30%		学期末の制作物の内容から評価する。					
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	授業の進捗度・理解度等により、授業実施順番、内容を変更する場合があります。								

科目名	ムービー制作 I A						学期	前 期	
担当教員	浅川友希	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	2
関係実務等	大仏兄弟株式会社所属。映像やイベントの企画・製作を手掛ける。中学校・大学での講師・講演経験多数。								
授業内容	iPadなどで撮影をし、まずは編集に触れてみる。その後、映像制作の企画構成を学び、撮影・編集をして動画を完成させる。								
学習目的	映像制作において必要なスキルや考え方を学ぶ								
学習目標	企画構成も理解した上で映像制作に取り組み、1本映像を完成することができる。								
使用テキスト	新版 映像制作ハンドブック								
週数	授業計画								
1	iPadでの映像制作(実際にiPadを使って学校内で撮影)								
2	iPadでの映像制作(実際にiPadで撮影した素材を使って編集①)								
3	ニュース撮影素材を使用してAdobe Premiere Proの使い方を学ぶ①								
4	ニュース撮影素材を使用してAdobe Premiere Proの使い方を学ぶ②								
5	住宅CMの素材を使用して企画構成・編集を学ぶ①								
6	住宅CMの素材を使用して企画構成・編集を学ぶ②								
7	撮影について 三脚・カメラの使い方								
8	WebクリエイターPR インスタ用動画(もしくはコンテスト用短尺動画)制作 構成								
9	WebクリエイターPR インスタ用動画(もしくはコンテスト用短尺動画)制作 構成								
10	WebクリエイターPR インスタ用動画(もしくはコンテスト用短尺動画)制作 撮影								
11	WebクリエイターPR インスタ用動画(もしくはコンテスト用短尺動画)制作 撮影								
12	WebクリエイターPR インスタ用動画(もしくはコンテスト用短尺動画)制作 編集								
13	WebクリエイターPR インスタ用動画(もしくはコンテスト用短尺動画)制作 編集								
14	発表								
15	修正・提出								
評価基準	評価項目/割合		評価内容						
	1. 課題	50%	課題の提出内容を評価する						
	2. 授業姿勢	30%	積極的に授業に取り組む姿勢を評価する						
	3. テスト等	20%	第14回、15回の発表、修正したものを最終提出物とし、評価する						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	※必要に応じて、実際の現場などに参加するインターンも予定								

科目名	ムービー制作 I B						学期	後 期	
担当教員	浅川友希	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	2
関係実務等	大仏兄弟株式会社所属。映像やイベントの企画・製作を手掛ける。中学校・大学での講師・講演経験多数。								
授業内容	カメラ・三脚で撮影をして、YouTubeに動画をアップする。また、ライブ配信の設定などを学ぶ。								
学習目的	映像制作において必要なスキルや考え方を学ぶ								
学習目標	企画構成も理解した上で映像制作に取り組み、YouTubeに動画をアップできるようになる。								
使用テキスト	新版 映像制作ハンドブック								
週数	授業計画								
1	ニュース撮影素材を使用してAdobe Premiere Proの使い方を学ぶ①								
2	写真撮影(実際に写真を撮影、フォトショップでの加工)								
3	撮影について 三脚・カメラの使い方								
4	録音・音声機材の使い方								
5	ライブ配信セッティング								
6	WebクリエイターPR YouTube用動画制作 構成								
7	WebクリエイターPR YouTube用動画制作 構成								
8	WebクリエイターPR YouTube用動画制作 撮影								
9	WebクリエイターPR YouTube用動画制作 撮影								
10	WebクリエイターPR YouTube用動画制作 編集								
11	WebクリエイターPR YouTube用動画制作 編集								
12	WebクリエイターPR YouTube用動画制作 修正								
13	WebクリエイターPR YouTube用動画制作 完成&YouTubeについて(アップロードの仕方など)								
14	発表								
15	修正・提出								
	評価項目/割合		評価内容						
評価基準	1. 課題	50 %	宿題課題提出 授業内の課題の取り組み						
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席・遅刻がないか ②受講マナーが良好か ③クラスの授業に協力的か、④授業中に良く聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ⑤忘れ物をしない 以上の観点から評価。						
	3. テスト	20 %	最終指定課題提出						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検 定・課外 授業実 施予定 その他	※必要に応じて、実際の現場などに参加するインターンも予定								

科目名	ネットムービー演習ⅡA						学期	前	期
担当教員	宝里 均	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	2
学習目的	クライアントの意向を理解し、目的に沿った提案をする								
授業内容	提案した内容を動画にする								
学習目標	動画編集における、企画、制作								
使用テキスト									
週数	授業計画								
1	どういった内容の授業なのかの説明:これから制作する動画の役割について理解する 班分け、メンバー内での担当者と制作内容についての設定								
2	説明会:連携先の企業やお店から学生に、事業所の事業内容や製品について説明して貰う(日程により前後します)								
3	与えられた内容について、具体的な役割について考える(過去の動画を見て、見習うべき点と反省点を確認)								
4	与えられた内容について、具体的な役割について考える(企業へ伺う前の準備として、どういった動画や写真が必要か:ラフ用)								
5	企業訪問(現地取材):予め設定していた内容に沿って、取材を行う(日程により前後します)								
6	撮影した素材の整理 動画を掲載する媒体(SNS)と、動画の尺をヒアリングの結果、提案する(提案する理由と効果について)								
7	企画・ラフ・絵コンテ作成								
8	企画・ラフ・絵コンテ作成								
9	企画・ラフ・絵コンテ作成								
10	持っている素材で動画を作る(ラフ)								
11	持っている素材で動画を作る(ラフ)								
12	持っている素材で動画を作る(ラフ)								
13	持っている素材で動画を作る(ラフ)								
14	持っている素材で動画を作る(ラフ)								
15	企業の反応と趣旨に沿っているか確認:反省会								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	40 %	課題提出 授業内の課題の取り組み、与えられた役割に沿った制作を行っているか						
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席・遅刻がないか ②受講マナーが良好か ③クラスの授業に協力的か、④授業中に良く聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ⑤忘れ物をしない 以上の観点から評価。						
	3. テストその他	30 %	制作内容・発表内容 総括						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	取材及び撮影などで課外活動あり。								

科目名	ネットムービー演習ⅡB						学期	後 期	
担当教員	宝里均	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	2
学習目的	クライアントの意向を理解し、目的に沿った提案をする								
授業内容	提案した内容を動画にする								
学習目標	動画編集における、企画、制作								
使用テキスト									
週数	授業計画								
1	撮影する内容、役割分担、機材の選択は間違いがないか等を確認:撮影前の最終確認								
2	★企業で撮影を行う:アポイントを行う(日程により前後します)								
3	撮影した素材を確認し、絵コンテに沿っているか等を検討								
4	★企業で撮影を行う(日程により前後します)								
5	動画編集1								
6	動画編集2								
7	動画編集3								
8	動画編集4								
9	動画編集5								
10	仮納品:自己チェック 企業と連絡を取り、ウェブ上でチェックして貰う								
11	仮納品:気になる点があれば修正する								
12	仮納品:気になる点があれば修正する								
13	最終納品前の確認								
14	最終納品・報告								
15	各班の反省会								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	40 %	課題提出 授業内の課題の取り組み、与えられた役割に沿った制作を行っているか						
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席・遅刻がないか ②受講マナーが良好か ③クラスの授業に協力的か、④授業中に良く聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ⑤忘れ物をしない 以上の観点から評価。						
	3. テストその他	30 %	制作内容・発表内容 総括						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	取材及び撮影などで課外活動あり。								

科目名	IPデザイン実践 I A					学期	後	期
担当教員	向谷内・非常勤	科目区	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数
								1
学習目的	実践的なデザインスキルを身につける。							
授業内容	デザイン・レイアウトの基礎を实践し、テーマに沿ったデザイン制作を行う。							
学習目標	ポートフォリオ掲載作品を完成させる。							
使用テキスト	誰も教えてくれないデザインの基本、なるほどデザイン							
週数	授業計画							
1	テーマ制作①文字・レタースペース制作							
2	テーマ制作①文字・レタースペース仕上げ・講評							
3	テーマ制作②レイアウト(図形と文字)制作							
4	テーマ制作②レイアウト(図形と文字)制作							
5	テーマ制作②レイアウト(図形と文字)仕上げ・講評							
6	テーマ制作③名刺制作							
7	テーマ制作③名刺制作							
8	テーマ制作③名刺仕上げ・講評							
9	テーマ制作④ロゴ制作							
10	テーマ制作④ロゴ制作							
11	テーマ制作④ロゴ仕上げ・講評							
12	テーマ制作⑤Webデザイン制作の流れとWebデザインの考え方							
13	テーマ制作⑤Webデザイン Adobe XDを使ったWebデザイン制作							
14	テーマ制作⑤Webデザイン Adobe XDを使ったWebデザイン制作							
15	テーマ制作⑤Webデザイン 仕上げ・講評							
	評価項目/割合				評価内容			
評価基準	1. 課題	50 %	課題提出 課題のクオリティ					
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席・遅刻がないか ②受講マナーが良好か ③クラスの授業に協力的か、④授業中に良く聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ⑤忘れ物をしない 以上の観点から評価					
	3. テストその他	20 %	課題のクオリティ等を評価する。					
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。							
目標 検定・ 課外 授業 実施	授業の進捗度・理解度等により、授業実施順番、内容を変更する場合があります。							

科目名	ECビジネス演習ⅡA						学期	前	期
担当教員	堺 信貴	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	ECサイトの概要を理解し、サイトを作成する能力を習得する。								
授業内容	EC運用に必要な実務的な知識とECサイトの作成について学習する								
学習目標	ECサイトの概要を理解し、サイトを作成する能力を習得する。								
使用テキスト	EC担当者の実務と知識がしっかりわかる教科書								
週数	授業計画								
1	【ECの概論1 ECの基礎知識】 ・ECサイトの概要を学ぶ						4-1		
2	【ECの概要2 EC事業の業務について】 ・ふさわしい写真、ネットで扱いやすい商品、決済システムとは？ ・特定商取引法とお店の情報						4-2	ここで使うBASEのサイトは練習用。後期の仮想企業はまた別にアカウントを作成して制作する。 テーマはコテラで決める	
3	【ECサイト制作実習】 ・BASEでECサイトを設定						4-3		
4	【ECの概要3 ECサイトの制作の知識】 ・テーマに沿ってECサイトを作成する						4-4		
5	【ECの概要4 SEOとSNSの集客】 ・SEO対策とECにおけるSNSを活用について理解する ・実際にSEO対策の一環としてdescriptionタグとtitleタグを設定してみる						5-1		
6	【ECの概要5 Web広告の集客】 ・Web広告の種類と違いについて把握する						5-2		
7	【ECの概要6 ECサイトの利便性】 ・ECサイトにおけるユーザーの利便性の重要性を理解する ・実際に検索やコメント機能に触れてみる						5-3		
8	【ECの概要7 ECアクセスの解析と改善】 ・ECサイトのアクセスの分析について理解する ・実際にアナリティクス機能に触れてみる						5-4		
9	【ECの概要8 ECサイトの運用とリピーター対策】 ・リピーター施策の種類や効果の違いを理解する						6-1		
10	【ECの概要9 ECメールについて】 ・ECメールの概要を理解する ・他商品との差別化と広告出稿						6-2		
11	【校外撮影実習】 ・プロが使用する実践的な撮影機材を実際に使用し、撮影機材についての理解を深める ・ECサイトにふさわしい写真の撮影方法について学ぶ						6-3		
12	【校外撮影実習】 ・プロが使用する実践的な撮影機材を実際に使用し、撮影機材についての理解を深める ・ECサイトにふさわしい写真の撮影方法について学ぶ						6-4		
13	【広告分析】 ・商品バナーのレイアウトについて学ぶ						7-1		
14	【撮影・制作実践】 ・校内で学生が各々撮影ブースを使用して商品を撮影 ・撮影した画像を使用して商品バナーとスライドバナーを作成、ECサイトに掲載する						7-2		
15	【撮影・制作実践】 ・校内で学生が各々撮影ブースを使用して商品を撮影 ・撮影した画像を使用して商品バナーとスライドバナーを作成、ECサイトに掲載する						7-3		
評価基準	評価項目/割合			評価内容					
	1. 課題	40 %		授業内課題提出、制作物、学期末課題にて評価する。					
	2. 授業姿勢	30 %		①欠席・遅刻がないか ②受講マナーが良好か ③クラスの授業に協力的か ④授業中に真面目、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ⑤忘れ物をしない 以上の観点から評価。					
	3. テストその他	30 %		撮影・制作実践の成果物の内容から評価する。					
評価：テストその他規定などとはそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標値と、課外授業実施予定、その他	授業の進捗度・理解度等により、授業実施順番、内容を変更する場合があります。								

科目名	ECビジネス演習ⅡB						学期	後 期	
担当教員	堺 信貴	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	1
学習目的	ECサイトの概要を理解し、サイトを作成する能力と運用環境を構築する能力を習得する。								
授業内容	EC運用に必要な実務的な知識とECサイトの作成について学習する								
学習目標	ECサイトの概要を理解し、サイトを作成する能力と運用環境を構築する能力を習得する。								
使用テキスト	EC担当者の実務と知識がしっかりわかる教科書								
週数	授業計画								
1	【広告分析_実践】 ・前期制作したバナーの別パターンを作成 ・ABテストを行う								9-1
2	【広告分析_実践2】 ・ABテストの結果を元に、キャンペーン違いのバナーを作成する								9-2
3	【LP制作_1】 ・LPの構成と役割について理解する ・広告分析の知識をもとに、LPをデザインする								9-3
4	【LP制作_2】 ・広告分析の知識をもとに、LPをデザインする								9-4
5	【LP制作_3】 ・広告分析の知識をもとに、LPをデザインする ・ECサイトにリンクを設定する								10-1
6	【仮想企業_ECサイト制作1】 ・BASEでECサイトを設定 ・総合演習ⅡAと連動した仮想企業の店舗情報を設定								10-2
7	【仮想企業_ECサイト制作2】 ・総合演習ⅡAと連動した仮想企業のトップページを作成 ・スライド機能の紹介と実践								10-3
8	【仮想企業_ECサイト制作3】 ・総合演習ⅡAと連動した仮想企業のトップページ・スライドバナーを作成 ・各種拡張機能の紹介								10-4
9	【仮想企業_ECサイト制作4】 ・総合演習ⅡAと連動した仮想企業の商品一覧ページを作成 ・各種拡張機能の紹介								11-1
10	【仮想企業_ECサイト制作5】 ・総合演習ⅡAと連動した仮想企業の商品一覧ページを作成 ・各種拡張機能の紹介								11-2
11	【仮想企業_ECサイト制作6】 ・総合演習ⅡAと連動した仮想企業の商品のLPを作成 ・各種拡張機能の紹介								11-3
12	【仮想企業_ECサイト制作7】 ・総合演習ⅡAと連動した仮想企業の商品のLPを作成 ・各種拡張機能の紹介								11-4
13	【仮想企業_ECサイト制作8】 ・総合演習ⅡAと連動した仮想企業のお問い合わせ・よくある質問ページを作成 ・各種拡張機能の紹介								12-1
14	【仮想企業_EC運用1】 ・Web演習ⅡBで作成したコーポレートサイトとリンク付け ・総合演習ⅡBで作成したSNSアカウント用の広告バナーを作成								1-1
15	【仮想企業_EC運用2】 ・Web演習ⅡBで作成したコーポレートサイトとリンク付け ・総合演習ⅡBで作成したSNSアカウント用の広告バナーを作成・掲載								1-2
評価基準	評価項目/割合			評価内容					
	1. 課題	40%		授業内課題提出、制作物、学期内課題にて評価する。					
	2. 授業姿勢	30%		①欠席・遅刻がないか ②受講マナーが良好か ③クラスの授業に協力的か ④授業中に良く聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ⑤忘れ物をしない 以上の観点から評価。					
	3. テストその他	30%		学期末の制作物の内容から評価する。					
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	授業の進捗度・理解度等により、授業実施順番、内容を変更する場合があります。								

科目名	プランニングⅡA						学期	前 期	
担当教員	向谷内 由佳	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	2
学習目的	目的に合わせた調査力と分析力、メディアを扱う力と表現力を身につける。								
授業内容	高岡市観光協会連携事業の企画、実施、評価、報告を行う。								
学習目標	理論と実践を結びつけ、課題解決につながる企画を立案し、外部へ提案する								
使用テキスト	なし								
週数	授業計画								
1	活動ガイダンス								
2	高岡市観光協会連携事業－キックオフMTG								
3	高岡市観光協会連携事業－現地調査								
4	高岡市観光協会連携事業－現地調査								
5	高岡市観光協会連携事業－企画会議①								
6	高岡市観光協会連携事業－企画会議②								
7	高岡市観光協会連携事業－ロケハン								
8	高岡市観光協会連携事業－ロケハン								
9	高岡市観光協会連携事業－企画会議③								
10	高岡市観光協会連携事業－企画会議④								
11	高岡市観光協会連携事業－企画書作成①								
12	高岡市観光協会連携事業－企画書作成②								
13	高岡市観光協会連携事業－企画提案								
14	高岡市観光協会連携事業－企画案修正								
15	高岡市観光協会連携事業－企画書送付、活動スケジュール決定								
評価基準	評価項目/割合		評価内容						
	1. 課題 50%		課題への取り組み(グループ評価、個人評価)						
	2. 授業姿 30%		①欠席・遅刻がないか ②受講マナーが良好か ③クラスの授業に協力的か、④授業中に良く聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ⑤忘れ物をしない 以上の観点から評価。						
	3. テスト等 20%		企画案・プレゼン評価						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検 定・課 外授業 実施予 定・そ の他	授業の進捗度・理解度等により、授業実施順番、内容を変更する場合があります。								

科 目 名	プランニングⅡB						学 期	後 期	
担当教員	向谷内 由佳	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	2
学習目的	目的に合わせた調査力と分析力、メディアを扱う力と表現力を身につける。								
授業内容	高岡市観光協会連携事業の企画、実施、評価、報告を行う。								
学習目標	理論と実践を結びつけ、課題解決に取り組み結果を残す								
使用テキスト	なし								
週数	授業計画								
1	活動								
2	活動								
3	活動								
4	活動 月次レビュー								
5	活動								
6	活動								
7	活動								
8	活動 月次レビュー								
9	中間報告								
10	活動								
11	活動								
12	活動まとめ								
13	分析・評価								
14	活動報告書まとめ								
15	高岡市観光協会へ活動報告								
	評価項目/割合			評 価 内 容					
評 価 基 準	1. 課 題 50 %			宿題課題提出 授業内の課題の取り組み					
	2. 授業姿 30 %			①欠席・遅刻がないか ②受講マナーが良好か ③クラスの授業に協力的か、④授業中に良く聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ⑤忘れ物をしない 以上の観点から評価。					
	3. テスト 20 %			中間成果物 最終指定課題提出					
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標検 定・課 外授業 実施予 定・そ	授業の進捗度・理解度等により、授業実施順番、内容を変更する場合があります。								

科目名	プランニング I A						学期	前	期
担当教員	向谷内 由佳	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	2
学習目的	実践を通してメディアの活用スキルやチームで働く力を身に付ける。								
授業内容	射水市観光協会連携事業の企画、実施、評価、報告を行う。								
学習目標	チームで課題解決に繋がる企画を立案し、外部へ提案する。								
使用テキスト	平均4.2カ月で1万フォロワーを実現するプロ目線のインスタ運用法								
週数	授業計画								
1	活動ガイダンス・チームビルディング SNSマーケティングとは(媒体特性と基礎知識)								
2	Instagram基礎－アカウント設計の考え方と実践								
3	Instagram基礎－投稿設計の考え方と実践								
4	Instagram基礎－静止画クリエイティブ・動画クリエイティブの研究と実践								
5	射水市観光協会連携事業－キックオフMTG								
6	射水市観光協会連携事業－現地調査								
7	射水市観光協会連携事業－企画会議①								
8	射水市観光協会連携事業－ロケハン								
9	射水市観光協会連携事業－企画会議②								
10	射水市観光協会連携事業－企画書作成①								
11	射水市観光協会連携事業－企画書作成②								
12	射水市観光協会連携事業－プレゼン練習								
13	射水市観光協会連携事業－企画提案								
14	射水市観光協会連携事業－企画案修正								
15	射水市観光協会連携事業－企画書送付、活動スケジュール決定								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題 50 %			取り組み内容への関わりと行動					
	2. 授業 30 %			①欠席・遅刻がないか ②受講マナーが良好か ③クラスの授業に協力的か、④授業中に良く聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ⑤忘れ物をしない以上の観点から評価					
	3. テスト 20 %			レポート・報告書提出 発表					
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定	授業の進捗度・理解度等により、授業実施順番、内容を変更する場合があります。 記載以外の取り組みや活動が追加となる場合があります。事前の連絡を確認し、行動してください。								

科目名	プランニング I B					学期	後 期
担当教員	向谷内 由佳	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修
学習目的	チームでの活動を通し、企画力、提案力、コミュニケーション力などを身に付ける。						
授業内容	射水市観光協会連携事業の企画、実施、評価、報告を行う。						
学習目標	企画の目標を達成する。						
使用テキスト	なし						
週数	授業計画						
1	活動						
2	活動						
3	活動						
4	活動						
5	活動						
6	活動						
7	活動						
8	活動						
9	中間報告						
10	活動						
11	活動						
12	活動まとめ						
13	分析・評価						
14	活動報告書まとめ						
15	射水市観光協会へ活動報告						
	評価項目/割合		評 価 内 容				
評価基準	1. 課題 50 %		取り組み内容への関わりと行動				
	2. 授業 30 %		①欠席・遅刻がないか ②受講マナーが良好か ③クラスの授業に協力的か、④授業中に良く聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ⑤忘れ物をしない以上の観点から評価				
	3. テスト 20 %		レポート・報告書提出 発表				
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。						
目標検定・課外授業実施予定	授業の進捗度・理解度等により、授業実施順番、内容を変更する場合があります。 記載以外の取り組みや活動が追加となる場合があります。事前の連絡を確認し、行動してください。						

科目名	総合演習ⅡA						学期	前 期	
担当教員	宝里均	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	2
学習目的	卒業制作に必要な準備とスキルを身につけ、自身が制作した作品の紹介								
授業内容	卒業制作に関わる技術訓練								
学習目標	Bitで学んだスキルの集大成を紹介する								
使用テキスト	なし								
週数	授業計画								
1	卒業制作とは何か 仮想企業の設定と過去の事例に学ぶ								
2	仮想企業の設定1 社名・ロゴ制作: 企業規模、特徴、強みと問題点、主要サービスとメイン商品等、具体的に設定する								
3	仮想企業の設定2 ロゴ制作								
4	仮想企業の設定3 ロゴ制作 強みと問題点、主要サービスとメイン商品:設定(課題)								
5	ウェブデザイン準備1 同業他社のサイトを調べて、業界のサイトデザインやカラー、傾向についてまとめる(課題)								
6	ウェブデザイン準備2 前回の授業でまとめた内容を、どういった形で自社のサイトに落とし込むのか(課題)								
7	ウェブデザイン準備3 WordPressとXDの基礎を学ぶ								
8	ウェブデザイン準備4 WordPressとXDの基礎を学ぶ								
9	ウェブデザイン準備5 サイトの構成を考える:どういったページが必要かフローチャートを作る(課題)								
10	ウェブデザイン準備6 SNSの種類とその役割 同業他社の調査(傾向を調べて分析する) 実際にアカウントを作る								
11	ウェブデザイン 制作1 XDで表紙デザインを制作(課題)								
12	ウェブデザイン 制作2 XDで表紙デザインを制作(課題)								
13	ウェブデザイン 制作3 XDで表紙デザインを制作(課題)								
14	ウェブデザイン 制作4 XDで表紙デザインを制作(課題)スマホの表紙デザイン								
15	ウェブデザイン 制作5 XDで表紙デザインを制作(課題)スマホの表紙デザイン								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	40 %	課題提出 授業内の課題の取り組み						
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席・遅刻がないか ②受講マナーが良好か ③クラスの授業に協力的か、④授業中に良く聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ⑤忘れ物をしない 以上の観点から評価。						
	3. テストその他	30 %	制作内容・発表内容 総括						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・ 課外授業 実施予定・ その他	授業の進捗度・理解度等により、授業実施順番、内容を変更する場合があります。								

科目名	総合演習ⅡB						学期	後 期	
担当教員	宝里均	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	必修	単位数	2
学習目的	卒業制作に必要な準備とスキルを身につけ、内容の濃い作品を制作する								
授業内容	卒業制作に関わる技術指導とアドバイス								
学習目標	Bitで学んだスキルの集大成								
使用テキスト	なし								
週数	授業計画								
1	ウェブデザイン 制作6 XDからWordPressへの組み込み(WordsPressの習得度を考えて)								
2	ウェブデザイン 制作7 XDからWordPressへの組み込み(WordsPressの習得度を考えて)								
3	プレゼンについて1 順序、内容と流れを考える(自分をプレゼンするには何が必要か、効果的な手法、ダメなプレゼン)								
4	パワーポイントでの制作内容について1 絵コンテの作成(課題) 発表で話す順番を組み立てる								
5	パワーポイントでの制作内容について2 絵コンテの作成(課題) 画面構成と話す内容(文章)を考える 素材収集								
6	パワーポイントでの制作内容について3 絵コンテの作成(課題) 画面構成と話す内容(文章)を考える 素材収集								
7	卒業制作について1 パワーポイントで制作								
8	卒業制作について2 パワーポイントで制作								
9	卒業制作について3 パワーポイントで制作								
10	卒業制作について4 パワーポイントで制作								
11	卒業制作について5 パワーポイントで制作								
12	パワーポイント最終確認								
13	卒業制作 個別指導								
14	卒業制作 個別指導								
15	卒業制作 個別指導								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	40 %	課題提出 授業内の課題の取り組み						
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席・遅刻がないか ②受講マナーが良好か ③クラスの授業に協力的か、④授業中に良く聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ⑤忘れ物をしない 以上の観点から評価。						
	3. テストその他	30 %	制作内容・発表内容 総括						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	授業の進捗度・理解度等により、授業実施順番、内容を変更する場合があります。								

科目名	インターンシップ I A						学期	後 期	
担当教員	向谷内 由佳	科目区分	専門	授業方法	実習・実技	分類	必修	単位数	1
学習目的	自己の職業適性や将来設計について考え、主体的な職業選択や職業意識を持つ。								
授業内容	授業での学びを活かし、ビジネス現場での業務体験を行う。								
学習目標	実習前に立てた目標を達成する。								
使用テキスト	なし								
週数	授業計画								
1	事前研修を実施する。 (1)目的の確認と目標設定、諸注意 (2)ビジネスマナーと身だしなみ (3)書類の作成説明								
2	事前研修を実施する。 (1)書類の確認 (2)総合指導								
3	各インターンシップ実習先にて研修								
4	事後指導(振り返りの実施) 実施報告書作成								
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題 70 %			実習先からの評価、実習日誌・報告書等を元に算出					
	2. 授業姿 30 %			出席率、実習先からの実習態度評価等を元に算出					
	3. テスト 0 %								
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施	インターンシップ事前・事後指導は、就職支援 I A・I B の中でも一部対応する。								